

## IV 抑留中の生活と極限状態における意識

問45 重労働の苦痛をどのように凌ぎましたか

(該当するものすべての番号を○で囲んでください)

	〈人数〉	〈%〉
1 苦痛を忘れるため作業に没頭した .....	384	12.4
2 作業の回避のみを考えた .....	353	11.4
3 人為的に体力を低下させ軽作業への転向を計った…	233	7.6
4 帰国のみを考え作業に従事した .....	2,470	80.1
5 その他 .....	78	2.5
	計 3,518	

問46 飢えをどのように凌ぎましたか

(該当するものすべての番号を○で囲んでください)

	<人数>	<%>
1 作業現場やその他で、食べられるものを絶えず収集した .....	1,887	61.2
2 私物を糧秣に交換した .....	917	29.7
3 支給の嗜好品（砂糖、たばこ）を食料に交換した...	396	12.8
4 極力体力の消耗を防ぐことに意を注いだ .....	1,195	38.7
5 その他 .....	114	3.7
	計 4,509	

61.2%の者が木の实、きのこ類、野草、蛇、蛙等食べられるものは何でも採取して食べた。

問47 酷寒をどのように凌ぎましたか

	〈人数〉	〈%〉
1 作業に専念 .....	171	5.5
2 暖房（室内） .....	291	9.4
3 焚き火（野外） .....	382	12.4
4 運動 .....	357	11.6
5 防寒具補強 .....	389	12.6
6 耐えるのみ .....	322	10.4
7 その他 .....	660	21.4
8 未記入 .....	1,115	36.1

計 3,687

室内の暖房がきかないので、水筒に湯を入れたり、煉瓦、石等を暖めて湯たんぽ代わりにした者もあった。

問48 抑留中一番苦痛を感じたことは何ですか

	〈人数〉	〈%〉
1 作業がつかったこと .....	1,208	39.1
2 食事が満足にできなかったこと .....	2,095	67.9
3 生活環境が不十分だったこと .....	864	28.0
4 帰還できるめどがつかなかったこと .....	1,536	49.7
5 戦友を亡くしたこと .....	721	23.3
6 酷寒 .....	1,424	46.1
7 その他 .....	32	1.0
	計 7,880	

抑留中の苦痛は、肉体的苦痛と精神的苦痛に大別できる。

肉体的苦痛は、飢餓67.9%、酷寒46.1%、重労働39.1%の3項目がセットになって合成されており、複合苦痛となっていることが特徴的である。

精神的苦痛の根底にあるのは情報からの遊離であり、このため帰還のめどがつかめないこと49.7%、家族の安否がつかめないこと（その他）1.0%等に苦痛を感じている。

（注）複数の回答が多かったので、そのまま集計した。

問49 抑留中「死」を意識したことがありますか

	〈人数〉	〈%〉
1 常に意識した .....	825	26.7
2 たびたび意識した .....	612	19.8
3 たまに意識した .....	838	27.2
4 意識しなかった .....	585	19.0
5 その他 .....	222	7.2
6 未回答 .....	3	0.1
	計 3,085	100.0

問50 どのような時に「死」を意識しましたか

(該当するものすべての番号を○で囲んでください)

	<人数>	<%>
1 怪我、病気をしたとき .....	779	25.3
2 帰還できるめどがつかなくなったとき .....	1,037	33.6
3 冬の酷寒に耐えられなかったとき .....	804	26.1
4 空腹に耐えられなかったとき .....	924	30.0
5 孤独に耐えられなかったとき .....	122	4.0
6 死亡者が出たとき .....	769	24.9
7 その他 .....	81	2.6

計 4,516

死を意識するときと、抑留中一番苦痛を感じたとき（設問48）には共通性が認められる。

一番苦しいと感じた酷寒、飢餓、帰還のめどがつかないとき（情報からの遊離）がそのまま死の意識につながっている。

問49・50のまとめ

多数の者が、抑留中に死を意識している。

死を意識した時の状況をみると、生還のめどがつかない絶望状態のとき（33.6%）及び空腹（30.0%）、酷寒（26.1%）、怪我（25.3%）等、肉体的苦痛が限界に達したときに死を強く意識している。

さらに、戦友に死別したとき「明日は我が身」との思いが、死の意識につながっている。（24.9%）

問51 抑留中家族の安否や今後の生活についてどのように考えましたか

	〈件〉	〈%〉
1 そこまでの余裕なし	955	31.0
☆帰りたい一心		
☆生きることで精一杯		
☆ノルマに追われて		
2 家族の生死	803	26.0
☆手紙に返事がないので心配した		
☆アメリカ占領下で家族はどうしているか		
☆情報がなく心配した		
☆老父母が心配		
3 家族の生活不安	62	2.0
☆食料不足に苦勞していないか		
☆健康で食料に不自由のない生活をしているだろうか		
☆人手不足で農業ができるだろうか		
4 帰国後の職業不安	65	2.1
☆満鉄職員であったので帰国後の仕事を心配した		
☆危険分子として職場に復帰できないのではないか		
☆官に復職できるだろうか		
5 帰国してから考えることにした	32	1.0
6 特に考えなかった	75	2.4
☆考えても無駄だと思った		
☆なるべく考えないようにした		
☆考えてもどうしようもない		
☆帰還のめどがたたないので生活のことなど考えなかった		

7	成り行きまかせ	11	0.4
	☆連絡がとれないので		
	☆情報が無いので		
8	その他	192	6.2
	☆帰国をあきらめていた		
	☆帰国をあきらめ自殺を考えた		
	☆生還して親孝行がしたい		
	☆ソ連に帰化することを考えた		
	☆日本が共産化していないか心配した		
	☆自分が元気であることを知らせたかった		
	☆家族から手紙がきたので安心した		
9	未記入	890	28.9
		計 3,085	100.0